

就労支援部会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画

令和7年度活動報告

開催回数 及び開催 日	5回 令和7年6月26日（第1回）、令和7年9月18日（第2回）、 令和7年10月21日（第3回）、令和7年12月9日（第4回）、 令和8年1月29日（第5回）
出席機関	江田島市商工会、呉公共職業安定所、呉安芸地域障害者 就業・生活支援センター、ひまわりくらぶ江田島、福祉サービス事業所 りんりん、SEL P江能、ワークセンターおおきみ、自立支援センターあおぞら、くらしサポートセンターえたじま、社協無料職業紹介所、市商工観光課、相談支援事業所ユーカリ、江田島市障害者生活支援センター、障害者相談支援事業所江能、市社会福祉課
活動内容	<p>1 各事業所における現状及び課題について</p> <p>(1) 各事業所の現状や課題</p> <p>ア 自立支援センターあおぞら 就労継続支援B型：定員20名、利用者数23名（受入不可） 就労移行：定員10名、利用者数6名。（受入可） 就労定着 作業内容：盆灯籠作り、牡蠣の種付け用の貝殻通し、グリーンファーム沖美のトマト拾い、市役所委託掃除、小物作り、はぎれマット、ビーズアクセサリ、農園作業（野菜：ゆめタウンや豆ヶ島の地域で販売中）、草抜き（固定客）など 課題：灯籠が年々売れなくなっている。将来的に、灯籠に代わる作業の開拓が必要である。 平均工賃：19,378円</p> <p>イ SEL P江能 就労継続支援B型：定員20名、利用者数15名。（受入可） 作業内容：盆灯籠作り、牡蠣の種付け用の貝殻通し、セーラー万年筆部品組立、グリーンファーム沖美からのトマトパックのシール貼り、石鹸作り、虫よけトンボ作りなど 課題：灯籠が今後は減る見込みがあり、セーラー作業やトマトのシール貼りを増やすか、新たな作業を取り組むか、色々と模索中である。 平均工賃：13,164円 （昨年より、2,000円の工賃アップに繋がった）</p> <p>ウ ワークセンターおおきみ 就労継続支援B型：定員10名、利用者数11名。（受入不可） 作業内容：セーラー万年筆の部品組立、園芸（苗の販売、牡蠣の種付け用の貝殻通し、軽作業など） 課題：セーラー作業では、最近作業工程の変更（エコを意識した取組）があった。無印良品のポリカボールペンの受注は増えている。園芸で花摘みをそのまま捨てていたが、再利用で藍染をしようか検討中。外作業（貝作業や園芸）は冷房がなく、暑くなる日</p>

も多く、短い時間で対応している。

平均工賃：16,439円

エ りんりん（報告のみ）

就労継続支援B型：現在の職員数での定員は18名、月1回の利用の方もおられるので、数名の受け入れ可能。

作業内容：きくらげの栽培・販売、貝殻通し（穴あけ、通し）、（トマトの）シール貼り、濱口醤油（箱折り等）など。

平均工賃：11,000円

オ ひまわりくらぶ（報告のみ）

就労継続A型事業所：定員20名、利用者数19名。（受入可）

作業内容：ペットフード（冷凍）、サニタリーボックス洗浄、江田島荘のリネン。

時給：1,026円

1日勤務：4.5時間

(2) 関係機関からの情報提供及び課題

ア 呉公共職業安定所

障害者専用の求人は少なく、一般の求人の中から相談対応をしている。ご本人の思いを大切にしながら就労移行事業所や就労継続支援B型事業所、なかぼつと連携し支援を行っている。

イ 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター（なかぼつ）

手帳を持っている方の就労支援を行っている。

企業に対しても雇用準備から対応をしている。

今回、船で通える場所で1件、企業での障害者雇用の話がある。毎日通える方で、決まった時間を働ける方がいれば、ご相談ください。今年度は、就労準備の研修会を予定しているのでお願いします。

ウ ぐらしサポートセンターえたじま

生活、家計、仕事の悩み等、生活の不安や心配ごとの悩みに寄り添い、どうしたら良いのか一緒に考えています。

就労支援については、50代60代の方も多く、なかなか就労に繋がることは少ない。

エ 無料職業紹介所（報告のみ）

ハローワークに出されている一般求人のうち、民間の職業紹介所で取り扱うことができる求人について相談、紹介をしています。相談に来られた方の中には、障害がある方もいらっしゃいます。その時点での求人情報を伝え、状況に応じて障害者生活支援センターの担当者に繋いだり、ハローワーク呉の専門の相談窓口についての情報を伝えたりしています。

オ 商工観光課

昨年度からハローワーク呉と連携をして、月1回の出張ハローワークを実施している。

(3) 就労選択支援について

令和7年10月1日から施行となる新たな障害福祉サービス。障害者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセ

メントを活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する。特別支援学校高等部での就労選択支援の利用が可能で複数回の実施も可能。要件が過去3年以内に、3人以上の雇用された実績などもあり、江田島市内ではあおぞらしか要件を満たす事業所がない。

あおぞら：地域の中で必要な状況ではあるが、課題として、場所の問題と職員の確保が現状では難しい。

なかぼつ：ウェルビーが全国展開で行うと情報があった。アセスメントの基準等が決まっていないので難しさがある。就労選択支援員の要件について、なかぼつの職員は満たしているが、事業の対応は不可。

2 研修会

【支援者研修】

「準備性のアセスメントについて」

～新しい職業準備性にかかるアセスメントツール～

日時：令和7年9月18日（木）10：25～12：00

講師：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部
広島障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 清家 隆史氏

参加者：17名

内容：就労支援のための新しいアセスメントツールを学び、グループワークを行った。

アンケート結果：より理解を深めて、アセスメントシートを活用していきたいと思った。

協同でチェックしていくことで、ズレの大きさがわかったり、改めて日ごろの支援で力をつけていくポイントがわかるので活用する場面が多いと思う。本人の自己理解を深める気付きを促す聞き取りが必要だと思った。

【当事者研修】

「会社で働くために」

日時：令和7年10月21日（火）10：00～12：00

講師：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部
広島障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 清家 隆史氏

中村 豊氏（補佐）

参加者：41名（利用者23名）

内容：「会社で働くとは」

「会社が求めること～整容面～」

「会社が求めること～働く動機～」

「会社が求めること～素直さ・真面目さ～」

「会社が求めること～安定出勤～」

「職業準備性とは」

いろいろなテーマでグループワークを行い、解説を聞きなぜ必要なのかを学んだ。また、「職業準備性のピラミッド」を活用し、現在の自分の状況を振り返り、「就労準備について」学んだ。

振り返り：利用者にとって良い経験になったと思う。

普段、発言しない方も自分の思いを伝えたり発表する機会

もありいい経験になったのでは。職員にとってもいい経験になった。

3 障害がある方の活躍を応援する！ えたじま〜けっと（振り返り）
（障害者福祉事業所製品の市町庁舎販売キャンペーン）

(1) 報告

日時：令和7年12月9日（火）9：30～13：30

場所：ゆめタウン江田島 2階（文具店隣）

参加事業、団体：SEL P江能、あおぞら、ワークセンターおおきみ、りんりん、ふれ愛プラザ、江田島市心身障がい児者父母の会たんぽぽ学級

来場者数：約130名

(2) 各事業所より *（ ）内は、売上

- ・ワークセンターおおきみ（25,210円）

利用者は喜んでいて、他の利用者にもチラシ配りに参加してもらってもよかった。花もよく売れた。利用者2名は1日参加した。

- ・あおぞら（22,910円）

利用者は喜んでいて、野菜もあり、商品を置くスペースが狭く、こちらの準備不足があった。

- ・りんりん（31,750円）

時間もちょうどよかった。思いのほか売れていた。

- ・SEL P江能（26,300円）

利用者のチラシ配りはいい経験になった。保護者の方が買いに来てくれた。来年度もぜひ参加したい。

(3) 開催時間について

【気づき】

午後からゆめタウンへ来られるお客が少なく、イベントの客足が途絶えた。時間を縮小するべきか。

【意見】

- ・昼休憩に職員が買いに来ていた。
- ・野菜を買う方は、午前中に来られる。
- ・人によっては、午後から来られる人もいる。

【来年度について】

来年度も同じ時間で開催し、様子を見ていく。

(4) 障害福祉サービス事業所作品展示について

期間：11月29日（土）～12月9日（火）

内容：事業所作品展示、パネル展示、パンフレット

参加事業所：呉特別支援学校江能分級

ふれ愛プラザ

歩歩江田島

グループホーム パラレル

グループホーム サンライズ（大君、柿浦）

グループホームオリーブ

福祉サービス事業所りんりん

自立支援センターあおぞら

SEL P江能

ワークセンターおおきみ

	<p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江田島市心身障がい児者父母の会たんぽぽ学級は、今年度で解散のため、来年の参加はなし。 ・来年度、呉特別支援学校江能分級が参加予定。 ・呉市の福祉まつりでは、カフェが併設されている。誠心園の地域活動支援センターでカフェを検討しているのであれば、コラボしてもいいのではないか。 ・呼び込み係でチラシ配りや看板だけでなく、お客さんの目につく工夫が必要（実際の商品を手を持つなど）。 ・開催日については、来年の第1回目で決定できるように協議する。 <p>4 来年度の取組について</p> <p>(1) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現状（作業内容、定員、利用者数）及び課題 関係機関からの情報提供及び課題 ・来年度の研修会について ・えたじまーけっと開催（12月予定） ・振り返り、来年度に向けて（1月予定） <p>(2) 開催回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回予定 【6月、9月、12月（えたじまーけっと）、1月】
--	---

令和8年度活動計画

開催回数	4回（6月、9月、12月（えたじまーけっと）、1月） * 6月と9月は定例会終了後に開催予定
出席機関	江田島市商工会、呉公共職業安定所、呉安芸地域障害者 就業・生活支援センター、ひまわりくらぶ江田島、福祉サービス事業所りんりん、自立支援センターあおぞら、SELP江能、ワークセンターおおきみ、くらしサポートセンターえたじま、社協無料職業紹介所、呉特別支援学校江能分級、相談支援事業所ユーカリ、市商工観光課、江田島市障害者生活支援センター、障害者相談支援事業所江能、市社会福祉課
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現状（作業内容、定員、利用者数）及び課題 ・関係機関からの情報提供及び課題 ・来年度の研修会について ・えたじまーけっと開催 ・振り返り、来年度に向けて